

インターバンクの声（2014年10月7日）

本日は、日銀の金融政策決定会合に注目だ。追加緩和はなさそうだが、焦点はやはり黒田総裁の発言内容だ。急速に進む円安ドル高だが、大企業には追い風が吹いているものの、中小企業にとっては逆風になっているようだ。今月1日(水)に発表された短観に於いても、大企業・製造業の業況判断が改善したが、中小企業は前回調査よりも悪化している。また、昨日の日経の朝刊にも、9月の倒産が5ヶ月ぶりに増加したとの報道があった。急激に進行した円安による原材料高が中小・零細企業を中心に倒産件数を押し上げた模様である。

同日夕方には、榊原経団連会長からも「これ以上の円安は好ましくない」との発言もあった。現時点では、黒田総裁は円安を容認しているが、今回の会見でも同様の発言があるかに注目したい。今回の会見でも、黒田総裁から円安容認発言を期待し、一部海外筋はドル円を買い増しているとの噂もあるが、今回は果たしてどのようなコメントが出てくるのであろうか。注目の記者会見は本日15時30分からである。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。